

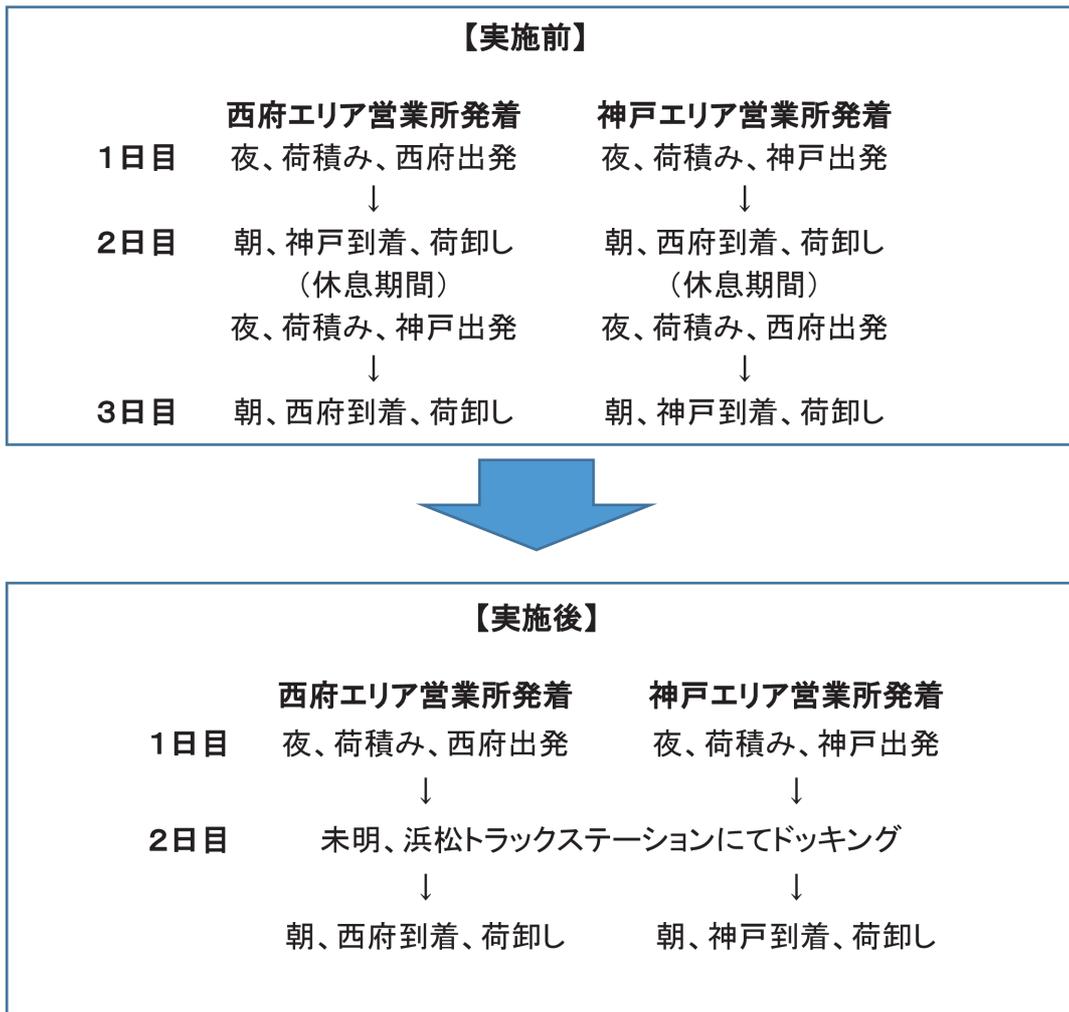
中継輸送の実施による労働負荷の軽減 東京都

1. 実施集団の概要

- 荷主企業兼元請運送事業者: (株)キューソー流通システム
 - 荷主企業兼元請運送事業者である(株)キューソー流通システムは大手食品会社キューピー(株)の物流子会社であり、全国 60ヶ所以上の拠点を活用した4温度帯での全国配送を行っている。
 - 発地、着地はともにキューピー(株)工場の敷地内に立地する(株)キューソー流通システムの営業所である。
- 運送事業者: キューソーティス(株)
 - 実運送を担うキューソーティス(株)は(株)キューソー流通システムの関連会社であり、(株)キューソー流通システムが元請となってキューピー(株)の輸送を主に行っている。
- 荷種: 食料品

2. 事業概要

● 中継輸送の実施



3. 課題

- ① いずれの運行においても、到着後の荷卸し終了から夜の荷積み開始までの間には10時間程度の休息期間が取れており、改善基準告示は遵守できていた。
- ② ただし、運行全体では3日運行となり、ドライバーが家に帰れるのは出発から3日目となるため、社内ではドライバーにかかる負担が懸念されていた。

4. 事業内容

- ① 浜松トラックステーションを活用した中継輸送の実施。
- ② 翌朝の戻りを車庫までで運行を終了させ、荷卸し作業は別の作業員により実施。
- ③ ドライバー同士が出発時にそれぞれ相手のドライバーにメールで出発時間を連絡、浜松への到着時間を読みやすくする。
- ④ 積み込み貨物はあらかじめパレットに積み付け、ストレッチフィルムで養生を行っておくことで、積み付け時間を削減。
- ⑤ 全量をパレット荷役とすることで、荷役時間とともにドライバーの作業負担を低減。

5. 結果

- ① 中継輸送の実施により、ドライバーは出発の翌日には家に帰れることとなり、実際に中継輸送に従事するドライバーからも概ね好評であった。
- ② 積み付け状況のチェックリストやパレット枚数記入のフォームを作成することにより中継時の連絡体制がスムーズとなった。
- ③ 朝の荷卸し作業が不要となることで、拘束時間が削減された。

6. 荷主企業のメリット

- ① ドライバーの労働負担が軽減されることにより事故リスクが低減した。
- ② 運送事業者が改善基準告示の遵守が困難な運行を行わざるを得なくなるリスクが低減した。
- ③ 先進的な取り組みを行うことで企業イメージの向上に繋がった。

7. 結果に結びついたポイント

- ① 双方が抱える問題点・不満点の忌憚のない意見交換ができたこと。
- ② 実施団体の構成員全体がドライバー不足等の物流問題へ認識が高く、連携して取り組めたこと。
- ③ トラックステーションを活用したことにより初期投資が不要であったこと。